

本会議から付託された議案8件の審査を行うため、9月19日に産業水道委員会を開催しました。

議案第58号 総社市国民宿舍条例の一部改正について

～内容～

顧客のニーズ等により、研修室等の使用時間帯の新たな区分を定めるため、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第59号 平成26年度総社市一般会計補正予算（第4号）

のうち本委員会の所管に属するもの

～内容～

秦地区の畑地かんがい配水管が民有地内に布設されており、急遽移設する必要が生じたことによる配水管改良工事費及びそれに伴う地元分担金を増額しようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：地元分担金は誰が負担するのか。

答：土木担当員要望により実施する事業であり、請求は土木担当員に行う。実際に負担する人については地元任せにしているので、市では把握していない。

議案第61号 平成26年度総社市国民宿舍事業費特別会計補正予算

（第1号）

～内容～

国民宿舍サンロード吉備路で使用しているコンベア式食器洗浄機及び浴室等のエアコンの経年

劣化による修繕料を増額しようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：今後、修理、修繕が必要な機器の把握をどう行っていくのか。

答：指定管理者と担当課との例会において、新年度の予算要求に間に合うよう報告するよう指導した。

認定第5号 平成25年度総社市農業集落排水事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：収納率が年々減少しているが、未収金の対応はどのように行っているのか。

答：督促、訪問徴収、滞納対策会議等を行っている。今後も引き続き収納率の向上に努めていく。

認定第6号 平成25年度総社市公共下水道事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：収納率が年々減少しているが、未収金の対応はどのように行っているのか。

答：督促、訪問徴収等を行い、今後も引き続き収納率の向上に努めていく。また、払える能力があるのに払わない人を減らすよう資産調査等も行っていく。

認定第7号 平成25年度総社市国民宿舎事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：サンロード吉備路を観光の拠点施設として考えているのか。営業戦略会議等は行われているのか。

答：戦略会議はサンロード吉備路と市の庁議メンバーとで年2回行っている。お客様のニーズに応えられるよう、出来ることから始めていきたい。

認定第9号 平成25年度総社市水道事業会計決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：配水量は増えているが、有収率は下降している。漏水の影響が大きいと思えるが、漏水対策をどのように考えているのか。また、未収金の対応はどのように行っているのか。

答：毎年度実施する、漏水点検の範囲を拡大していく。漏水の連絡を受けた場合は速やかな修理を行う。また、未収金の対応としては、催告を最低年3回、分納誓約による支払いの強化、最終的には給水停止を実施していく。コスト意識を持ち、今後も引き続き収納率の向上に努めていく。

認定第10号 平成25年度総社市工業用水道事業会計決算認定について

～結果～

特に、質疑、討論もなく、全員一致で**認定**すべきであると決定。